

2023.7.13 (木)  
第1回例会  
(通算3717回)

## 2023-2024 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第85代会長 後藤 公貴  
副会長 樋口 貴広  
幹事 佐藤 貴之  
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F  
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2023-2024 年度  
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう  
2023-2024 年度  
RI会長 ゴードン R. マッキナリー  
第2500地区ガバナー  
鶴見 誠一郎 (釧路港 RC)

月間テーマ 会員増強・新クラブ結成推進月間

本日のプログラム 「ガバナー公式訪問例会」(理事会)

次週例会 「三役・四大委員長挨拶」(理事会)

■ロータリーソング：四つのテスト ■ソングリーダー：郡 龍珍君

■会員数 97名

■ビジター なし

■ゲスト なし

### 乾杯挨拶 吉田 潤司パストガバナー



鶴見ガバナー、ようこそ釧路ロータリークラブへお出でいただきましてありがとうございます。公式訪問が何件か始まりましたが、これ

からまだたくさんあります。私もやりましたけど、やっぱり北海道はすごく広いですね。広いですけど、なかなか行けないいろいろな所に行けたのは今考えると楽しかったなと思っております。どうぞ、楽しさと、それから持ち前の指導力を発揮していただきまして、元気で回っていただきますように希望いたします。

皆さん、このように若い49歳のガバナーが出たことは、日本全国で相当注目されている地区だと思えます。

鶴見ガバナーが出ることによって、2500地区が元気になりますように祈念いたしまして、また鶴見ガバナーのこれからのますますのご活躍を祈念いたしまして、乾杯をしたいと思います。では、皆さんお願いします。

### 会長の時間

後藤 公貴会長



皆さま、こんにちは。鶴見ガバナー、そして佐渡ガバナー補佐をはじめ本日、ご来訪のロータリアンの皆さま、ようこそ釧路ロータリークラブ

クラブの例会へお越しくださいました。限られた時間ではありますけれど、佐渡ガバナー補佐をはじめとした分区の皆さまは2週連続となりますが、ぜひ限られた時間、この釧路ロータリークラブの雰囲気をご堪能下さればと思っております。

そして、後ほどは鶴見ガバナーの公式訪問のお話を聞く絶好の機会となっております。本日、お集りのメンバーの皆さまには、鶴見ガバナーのお話を聞いた上で、先日、皆さまにご配布・ご送信をさせていただきました『国際ロータリー第2500地区すべてのクラブ会員さまへ、今年度を迎えるにあたり』という鶴見ガバナーが作って下さった資料をご覧いただくと、現在のロータリー、そして地区の活動がより深く理解できるものと思っております。ぜひ、ご覧くださいませようお願い申し上げます。

さて、本日は、先週行われました第7分区内各クラブへの表敬訪問の時にお話させていただいた内容を

皆さまにその一端をご披露させていただければと思っております。佐渡ガバナー補佐以下は「聞き飽きたぞ」と思っているかと思いますが、少しだけお付き合いのほどよろしく願います。

「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」。今年度、われわれクラブはこのスローガンを掲げさせていただいて、活動の指針とさせていただきます。私たちが生まれて、そして育ち、そして生活をさせていただいて、商売を営ませていただいています。このロータリーでの活動や事業を通じて、何か少しでもいいことをこの地域に還元をしてみたい。そして、この地域でお役に立ちたい。そんな思いを私はロータリー活動を通じて思っているところです。

そして、その活動の基盤を強固にするためには会員増強、そして退会防止の働きかけが必須であると考えています。入会、勧誘者に対して丁寧なご説明をすること。そして、その会員拡大が一過性にならないような取り組み、そして仕組みづくりを今年目指してまいりたいと思っています。そして、ロータリー活動の全ての活動の根幹をなすのは親睦活動、そして交流事業です。この親睦交流活動は、コロナ禍の中でここ数年は思うようにできておりませんでした。今年はこの事業を、活動を充実させていただいて、わが釧路ロータリークラブの真髄というものを皆さまと一緒に楽しんでまいりたいと思っていますのです。

近々のご案内にはなりますが、7月29日、30日に、全道中学親善硬式野球大会が第7分区の主催で行われます。長年に亘り私どもが提唱させていただいて、運営に深く携わっている事業であります。今年は第7分区にお願いをして例年よりも1万円だけ多くのご寄付と言いますか、運営費を頂戴しております。

第7分区の事業ということは、私たちの会費・浄財の中で運営をされている事業ですので、もし「一度もご覧になっていないぞ」「あの空気を楽しんでいないぞ」という方がおりましたら、ぜひこの両日、時間を作ってください会場に足をお運びいただければと思います。また、8月にはその報告例会も予定をしております。こちらは第7分区の皆さまにもご案内をさせていただいて、多くのメイクアップの中で開催をさせていただきたいと思っております。当日の熱戦の模様、そして指導者、そして今年は選手の声もその場でお聞きできる設えをさせていただいております。ぜひ、こちらの方も多くのご参加をよろしくお願い申し上げます。という具合で話をさせていただいて、多少、そのクラブとの縁、ゆかりをお話の中でさせていただきます。

最後になります。ぜひ、このクラブでなければ味わえない楽しさを何とかわれわれ執行部で体現してみたいと思っております。ぜひ、皆さまと一緒に楽しい1年間を作ってみましょう。

以上で私のご挨拶とさせていただきます。本日より、

どうぞよろしく願い申し上げます。

## 幹事報告 佐藤 貴之幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。先週に続きまして地区大会エントリーについてです。地区への締め切りが来週7月21日となっております。まだ数名の方しかお返事をいただいております。まだまだホテルたくさん余っておりますので皆さまどうぞよろしく願いいたします。

本日は鶴見誠一郎ガバナーにも釧路に来ていただいております。ぜひ地区大会、私たちは多くの人数で参加して成功、ご協力したいと思っております。皆さま、ぜひ地区大会の登録をよろしく願います。以上となります。

### ■本日のプログラム■ ガバナー公式訪問例会

#### 国際ロータリー第2500地区

##### 鶴見誠一郎ガバナー



釧路ロータリークラブの皆さま、こんにちは。紋別港ロータリークラブからまいりました鶴見誠一郎です。よろしくお願いいたします。高

い所からですけれども限られた30～40分ですが、私から皆さまにお知らせ申し上げ、また、半ばお願いもございまして最後までお話を伺いいただければと思っております。よろしくお願いいたします。スライドを作らせていただいております。私は今回、公式訪問について65クラブを回らせていただきますが、すべてのクラブ様用にスライドを作らせていただいておりますため、合計65種類のスライドがあるということです。いろいろと皆さまに知っていただきたいこと、また考えていただきたいこと、私からのご相談兼お願いもありますけれども、ゆっくりと聞いていただきたいと思っております。

最初に諸先輩へ感謝です。小船井修一パストガバナー、吉田潤司パストガバナーには日頃から温かくご指導いただいております。本当にありがとうございます。それと、先人の先輩方におかれましてはロータリークラブを創立していただいて、発展してくださいました。また、今日までロータリークラブをお守りいただきましたことも合わせて感謝申し上げたいと思っております。

それと本日は、皆さまへ感謝ということで、今年度私が地区ガバナーを務めさせていただきますこと、また、本日の公式訪問例会の場を設けていただき、いろいろと準備、調整、手配もしていただいたと思っております。本

当にありがとうございます。

私にとって「釧路ロータリークラブ様とは」ということでは、歴史を考えた時、またクラブ運営全般、目標の設定のあり方、ロータリー財団と米山記念奨学会へのご理解、そして青少年育成への取り組み、本当に敬服申し上げるクラブ様です。

今年度R I会長がどういってお方で、どのようなお話をされるかにつきまして、数分間の動画を用意させていただいております。スクリーンの下の方に字幕が出てまいります。後ろの方には字幕が見えにくい恐れもありますけれどもご容赦いただきまして、お聞きいただければと思います。

(ビデオ上映)

ありがとうございます。もう少し要約できればよかったです。全般的に皆さまに分かっていただ



にはこれが限界だったということです。今年度のR I会長、ゴードン R. マッキナリーさんはスコットランド出身で、職業分類は歯科医師で

す。すでに皆さまご存じのようにテーマの方は英語で言いますと「CREATE HOPE in the WORLD」、日本語では「世界に希望を生み出そう」です。スピーチの中にも一部ありましたけれど、最近では自然災害がとても大きく増え、またロシアのウクライナ侵攻、そして新型コロナウイルスによる世界的なまん延で尊い命が失われて、世界にわたる疲弊と不幸に満ち溢れているところからの脱却が必要である、その脱却をするためには希望が必要である。という経緯からこのテーマを導き出したようです。

そこで、私は国際協議会が終了してから日本に戻ってくる14～15時間の間に、飛行機で一睡もしないで考えたスローガンと活動方針がこちらです。

「今こそ変わる勇気を！ さあ、一步前へ」ですが、今までがよくなかったという意味ではなく、これから未来のために何かを変える必要があるという意味です。今までの否定ではないということだけ分かっていただければと思います。

また、「行動することに意味がある」という方針を打ち出させていただきました。人は恐怖心から先行する生き物だと言われております。従いまして、最初から「ダメなんじゃないか」「できないのではないか」と決めつけずに、さまざまなことをプラス思考にお考えいただき、また時には発想を転換していただいて、最後は自分を信じて、まずは行動をしてみる。一步前へ、という思いを込めさせていただきました。

クラブ協議会について話します。本当に地区内の皆さまにはご心配をおかけしました。実は例年、公式訪問の時にクラブ協議会をやっていただくのが当地区の慣例・慣行でした。しかし、全国規模で見ますと、日本には34地区ありますが、前年度のうちに補佐の方が主導になってクラブ協議会を完了していただくのがスタンダードと言えます。ほとんどの地区がこの方式を採用し、新年度の準備を完了させるものを採用しております。

従いまして、私の年度から私の勝手な考えに基づいてクラブ協議会を先行して終了していただいたのではなく、日本の他の地区に足並みをそろえたというものです。また、次年度・次々年度にもこの方式の採用を継続していただけるということも聞いております。今年度が決して特別な時ではなかったということだけ、ご理解いただきたいと思っております。

ほかの分区の報告ですが「まだ補佐にもなっていない者が会を指導していいのだろうか」というご指摘もいただいております。しかしながら、新年度を迎えればガバナー補佐になるわけですから、そこは寛大なお気持ちを持っていただいて受け入れていただければと私は思っております。次年度以降もまた引き続きそのようなご理解をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

昨年11月11日を締め切りにガバナーエレクト事務所から全クラブにヒアリングシートを展開しました。それに基づいて、いただきました解答を引用して、このスライドを作らせていただきました。

釧路ロータリークラブ様ですが、まず「地域自慢」としては、「食・自然・景色・文化・歴史、そして過ごしやすい気候」と報告いただいております。そこで、その地域自慢を生かして更なる発展を目指したロータリーのクラブ興しができないだろうかということも考えていただければと思います。クラブの特徴、特性、長所、取り組みなど継続的に情報を発信し続けていただければと思います。すでに釧路ロータリークラブにはホームページとかフェイスブックでアップしていただいているのは存じております。更なる情報の発信をしていただければと思っております。まずは、地元が最優先ですので地元の地域を中心に少しずつ広げていっていただければと思います。

また、「クラブ自慢」です。「クラブの一体化」「30年に亘る継続事業」、独自の奨学金制度を活用した青少年の育成、嵯峨晃様のご意志を承継していることに心から敬意を表しております。本当にありがとうございます。

ロータリー財団と米山奨学会につきましては例年、皆さまに非常にご理解いただいてご支援していただいておりますので、そこについては触れず、ポリオプラスについてのご相談を申し上げたいと思っております。ポリオ



プラス、まだ私どもの地区におきましてはまだまだ理解が足りないと思っている次第です。従いまして例会の中で、また会員様間の会話の中で、この話題についてふれていただき、ポリオについての理解を深めていただき、クラブ内で情報を共有していただければと思います。

また、ロータリー財団が掲げている寄付の目標額も把握していただければと思います。

ポリオデーが10月24日に設定されております。今年度、私の方でもローターアクトを中心にこのイベントを検討中です。情報がはっきりしましたら皆さまに参加の呼びかけを行わせていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。ポリオプラスについて理解を示していただく、士気を高めていただくために、例えば、この例会場のどこかにポリオの旗を掲示していただければ、士気が高まるのではないかと考えています。運営側の皆さま、検討をしていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

「クラブで注力している項目、また目標」では、この青少年や若者を支援する事業に一般的に教育・福祉・保健・医療・雇用に関する施策が必要とされています。ロータリーは青少年交換やライラセミナーが該当するのかなと思っています。ライラセミナーですが、私も入会してから何度も引率ロータリアンとして参加させていただいたことがあります。どうしても1年に1回だけの一過性のものになっているのが残念だと思っています。従いまして、この継続性を考えて、ライラの学友会を設立できないかという構想を抱いております。これは私一人で突っ走るわけにはいきませんので、慎重に関係する皆さまにご相談を申し上げてから進めたいと思っています。

「青少年との関わりと子どもたちの支援」という項目についてです。青少年との関わりについて少しご注意いただきたい点があります。私も先日、RIJYEM(ライジェム)の会議に参加してまいりました。そこで青少年、特に10代の若者を相手にするときにパワハラとかセクハラに敏感な状況になりつつあります。ロータリアンや大人が全くその気がなくても、受ける側に見れば「そう感じた」という例が非常に多く、例えば『手につないで』があると思うのですが、あれを「手につないだら駄目だ」とか「エアーで手を振るフリをしてください」というガイドラインも出ているくらいです。私は、しびれを切らして途中で話を遮って「青少年の育成にそこまで気にするのか」という意見を出しました。参加する方も敏感になりすぎるのは良くないと思っています。従いまして、青少年を保護するだけのガイドラインではなく、勘違いで問題が起きた時に、ロータリアンや大人を助けられるようなガイドラインも作ってほしいです。しかし、今のところ難しいところもあります。今、セクハラやパワハラ

による紛争において一時金が支払われたりする保険の商品もあるようです。そのような事業を行う場合には必ず保険に入ることをご検討いただければと思います。

参考までに先日、釧路市長と20分ほどの対談をさせていただきました。「昨今の釧路市内の心配事として、子どもたちの家にはスマホ・タブレットが普及していて、本がない」と言われました。そこを市長がすごく心配しているということです。これについて皆さまはどう思われますか。今一度、考えてみていただきたいと思っています。

「課題や解釈の仕方」でもアンケートのお返事をいただいております。会員の維持については参考資料から引っ張った成功例の1つです。会員の皆さまに強制・強要する話ではありません。あくまでも成功例として複数の関連資料に載っていたものを引用させていただきました。

会員の維持に必要なことです。大人数のクラブでは会員間の親睦を図り、会員間のコミュニケーションをとるには何よりもこまめに情報を共有し、クラブの目的を明確にすることが必要です。また、会員を迎え入れる温かい雰囲気づくり、会場への入室の瞬間、テーブルまでの着席、この瞬間が重要と思われれます。それとメンタ的な話になりますが、入会後のフォローができるか。入会後に不安を感じないようにしばらく継続したフォローが必要だと思っている次第です。

DEIについてです。前年度からDEI推進委員会を地区の中で設けております。ガバナーエレクトの小谷さんには推進委員長に就任していただいております。このDEIについては見解が分かれたり、解釈が分かれたりしています。そこで、私と小谷エレクトの間で何度も協議して、もっと分かりやすく凝縮した結果を今、スクリーンでお示ししております。

DEIの「D」の多様性は、「自分が理解し、受け入れる範囲を広げてみましょう」です。「E」の公平さは、「同じものを提供するのではなく、必要なものを必要としている人に必要な分だけを提供する」と考えてみてはいかがでしょうか。「I」の包摂性は、抽象的ですが分かりやすく言うと「仲間として受け入れる思いやり」ではないかと思ひます。そこで、もっと分かりやすく言うと、私の中ではこのDEIの日本語版として『目配り・気配り・心配り』だと思っています。そうすることで、皆さまのイメージが何となくクリアになっていただければいいなと思ひます。

会員増強におけるポイントです。クラブを元気に盛り上げるにはということで、こちらも成功事例として資料に載っていたものをピックアップしました。クラブの長所を全てリストにする。入会候補者のリストを管理する。クラブの強みを知る。会員増強をクラブの最優先事項にする。若いロータリアンのフレッシュな意見を求める。地元のボランティアにアピールする。行

く先々でロータリーについて話をする。クラブ会員の義務リストを作る。ゴールはないということ認識する。奉仕を強調する。入会式をお祝いする。粘り強く精力的に。多様性を受け入れる。初めの一步を後押しする、そこが成功の秘訣である。ということが成功例として謳われています。

釧路市の人口について参考までにお示ししておりますが、ここは飛ばさせていただきます。

「分区と地区との連携について今後の方針」、私の希望的なことを話します。定期的にクラブの状況をお知らせいただきたいと思ひます。2～3カ月ごとにヒアリングをさせていただき、クラブが今どういう現状にあるのかを把握させていただきたいと思ひます。また、それをフィードバックしていただいたものを拝見して、気づいた点は共同で取り組ませていただければと思ひます。今年度から私の強い思い入れがありまして、クラブ奉仕サポート委員会を設けさせていただきました。こういった時に力を発揮していただけるものと信じております。

話は他のことになります。今、R Iでは『マイロータリー』への登録の向上を強く言っております。このマイロータリーは、私も初めは侮っていましたが、内容がすごく充実して情報量も多いです。それをすべて理解していただきたいという話ではなくて、そこからクラブを活性化できるようなヒントを皆さまの中で得ていただければ思っております。

向かって左側の円グラフは2500地区の登録比率です。青い部分の28.22%が登録数です。釧路ロータリークラブは非常に高く42.27%です。少しでも登録率の向上をいただき、そこからいろんな情報を仕入れていただける会員を増やしていただければ思っております。

「寄付は志だから任意だろう」「強制されるものではないよね」「ロータリー財団は金集めばかりのこと考えているのではないの」という言葉を聞いたりします。私の考え方ですけれども、そこは違うと思ひます。志だからこそロータリアンとして前向きにお考えいただきたい。寄付という言葉だから抵抗があるなら、支援という言葉に置き換えてみてはいかがでしょうか。少し気持ち的なハードルが低くなるのではないかと思っております。「奉仕の理想に集いし友よ」と皆さまに歌っていただいております。直接的に奉仕が難しいようであれば、直接奉仕できるものにそれを託して活動を支援していただければ思っております。

今、ロータリー財団は、年次基金を1人当たり1年間で150ドルご支援いただきたいという目標があります。ポリオプラスについて1人30ドルです。合計しますと180ドルで、日本円にしますと2万4,000円～2万5,000円になります。1回で2万4,000円～2万5,000円と言ってしまうと高いと思うのですが、

毎月ではいくらかというと2,000円ぐらいです。1日当たりに換算すると65円です。このようにお考えいただければ、目標が達成できる可能性が高くなるのではないのでしょうか。できましたら、この『寄付ゼロ』についてゼロにするのをずっと継続しております。毎年、6月に滑り込みで達成したよと聞くわけですが、できれば年内の上期のうちに達成したいと思っております。皆さま、ご支援のご協力をお願いしたいと思ひます。

最後に皆さまへお知らせということで、なじみが薄いものをご紹介します。

ポール・ハリス・ソサエティというものがあります。PHSと言われるものですが、毎年1000ドルの支援をご成約いただくことで財団からの認証を受けることができます。また、最近、新しくできたものでは『ポリオ・プラス・ソサエティ』があります。PPSに毎年100ドルの支援をご成約いただくことで財団からの認証が受けられます。ぜひ、ご検討いただければと思ひます。

あと、R Iの理事会で決定されたことがあります。7月1日から、ロータリーの中では「研修」という名称は消えます。その研修は「ラーニング」という名称になります。また、「リーダー」という名称も消えます。「ファシリテーター」という名称に変更になります。従いまして、次年度のクラブにおいて活動計画書等を、また組織図を作るときには名称の変更、また引用について注意していただければ思っております。

最後です。宣伝をさせていただきます。10月8日に紋別で地区大会が行われます。カニ不足の世の中で、何とか300キロを調達することに成功しました。宿泊で不安な思いとか、ご迷惑・お手数をおかけすると思ひますが、私たちはこの300キロのカニとともに皆さまに紋別にお越しいただけるのを心からお待ち申し上げます。ぜひ、ひとりでも多くの会員のご登録、また紋別にお越しいただければいただければ思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。私のお話は以上です。本当に最後までご清聴いただきましてありがとうございました。

#### 会長謝辞 後藤 公貴会長



鶴見ガバナーには、本日10時よりの『会長・幹事との懇談会』、そして『意見交換会』、そして今の『講話』と大変長時間にわたり、大

変有意義な時間を共有させていただきましたことに心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

淡々のご説明をされておりましたが、変化をする、また新しいことに取り組むというのは皆さまもご存じの



とおriかと思ひます  
が、本当に大きな  
ハードルで大変なご  
苦勞があつたご推  
察を申し上げます。  
今日は5クラブ目の  
公式訪問ということ

です。あと60クラブの公式訪問が待っております。  
ぜひ道中、事故なくお過ごしいただけることを祈念申  
し上げます。

最後になりますが、今年の地区協議会の更なる発展、  
そして鶴見ガバナーのご健康、そしてご多幸を心より  
ご祈念申し上げさせていただいて、私ども多くのメン  
バーで地区大会・紋別の地へはせ参じさせていただき  
たいと思ひます。ぜひ互いに笑顔でまたお会いしま  
しょう。

本日は誠にありがとうございました。

#### 本日のニコニコ献金

- 鶴見誠一郎ガバナー
- 佐渡 正幸ガバナー補佐

今年度累計 12,000 円